

生いっか

SHINGON

【特集】

お盆だからこそ考えよう

―亡き人を安心して送り・供養するために①

通夜（枕経）―



弘法大師 空海
ご誕生 1250年
令和5年(2023年)

Vol.

97

真言宗智山派

仏さまに祈り 仏さまと出会う

目次

- 今日の法語 上村正斎……………2
- 智山寺院探訪 鹿野山神野寺……………3
- 特集 お盆だからこそ考えよう……………6
- お大師さまとご信仰 田村宗英……………10
- 教えは伝わる
一真言八祖解説一 別所弘淳……………11
- 図解・仏教ガイド 「マンガでわかる十三仏⑤」
え・悟東あすか……………12
- ゆーけいの写仏をするよろこび
牧 宥恵……………14
- 日本の四季を切り取る十七文字
星野高士……………15
- 総本山の便りをお知らせします……………16
- らせんのなかのブツダガヤ 中嶋亮順……………18
- ごくらくらくご 三遊亭竜楽……………19
- 御詠歌で綴る十善戒の教え
佐々木眞光……………20
- 読者アンケートから・おしらせ・編集後記……………22
- 真言宗智山派出版物のご案内……………23
- 桃山の息吹に触れる 安原成美……………24
- お大師さまのご生涯
一お大師さまカルター 川崎一洗・三船毅志……………26
- 花に聞く 仏に聞く 佐々木隆元……………28
- 仏教と妖怪 今井秀和……………29
- 私のお大師さま
ビジュアルで読む現代的性霊集 feat.Rieko 内藤理恵子……………30
- ご本尊さまと出会う
小笠原隆浩・黒川広志……………31

■ 仏教について	■ 仏教と文化
■ わたしたちの生活と仏教	■ お知らせ

表紙「月山弥陀ヶ原湿原」山形県庄内町

山形県の名峰月山の八合目付近に広がる月山弥陀ヶ原湿原を歩いて行くと、まるで空まで駆け上って行けそうな一本の木道に出会いました。空には雲がゆるやかに流れ、一面に高山植物が咲いています。まさにここは「天空の楽園」。夢を見ているような気分になりました。

表2「南島の廟池」東京都小笠原村南島

世界自然遺産の小笠原諸島は、東京から南に約1000km離れたところにあります。南島は父島の南西沖にある無人島。東京都自然ガイドが同行しないと上陸できないほどの環境規制があり、まるで無垢の島に上陸したような清々しさがあります。

撮影・解説／新海良夫



一切皆苦

今日の法語「一切皆苦」

上村正斎（埼玉県上尾市・大日密寺住職）

―すべては、思い通りにならない―
私たちは、日々の生活の中で、自分の望むとおりに
なってほしいと願います。ところが、人生は想定外な
ことばかり。どうして自分だけうまくいかないんだ、
不幸なんだと嘆き、怒り、苦悩します。

お釈迦さまはおっしゃいます。
―一切皆苦―
失敗や挫折してイライラしたら、落ち込んだら、心
の中でつぶやいてみる。お釈迦さまがおっしゃるのだ
から仕方ないかと諦める（欲を捨てて納得する）。する
と、思い通りになると思っていたことが慢心だったと
気づき、安らかなる心が訪れます。



神野寺本堂。銅板瓦棒葺きの屋根が、三階建てのように見える重層父母屋造りになっている。高さ21m、間口、奥行きともに10間あり、非常に重厚感のある造りである。



智山寺院探訪

鹿野山 神野寺

千葉県君津市

神野寺の歴史

から多くの人々が参拝し、伝説と信仰の霊場として賑わいました。今回、開創一四二一年目を迎え、関東最古の寺院として知られる古刹神野寺へ訪れました。

神野寺は推古天皇六年（五九八）、聖徳太子によって開山されました。伝説では、太子がこの地にお堂を建立する際、野生の鹿がたくさん集まったといわれています。鹿といえば、仏教の開祖であるお釈迦さまが最初に教えを説かれた地を、鹿が多く住む林であったことから「鹿野苑（サルナート）」といいます。このことにちなみ、山号を「鹿野山」といいます。シロクヤザンと読まないのは、一説には、神野寺が「神のこもれる山」ということから「神野山」カミノ山あるいはカノ山、それが「カノウザン」と転訛し、さらに鹿の伝説と附会し「鹿野山」になったといわれています。

ご本尊さまは、薬師如来と軍荼利明王（共に高さ三・六メートル）の両本尊であり、本堂内陣の同じ大廚子の中に並列して安置されている。



九十九谷展望公園からの景色。東京から車で70分ほど。朝方に訪れると、雲海を見ることができる。

ます。両尊とも聖徳太子一刀三礼のご本尊とされ、薬師如来は疫病から人々を守るために、軍荼利明王は国家安穩を願ってご謹刻されたと伝えられています。普段は秘仏であり、ご開帳されるのは二月三日に行われる節分会の護摩祈禱中の特別開帳（三〇分程度）の際と、十二年に一度、寅年の四月二十八日から一ヶ月間であり、次回の寅年は令和四年（二〇二二）です。

神野寺は開創当初、特定の宗派には属していませんでしたが、天安元年（八五七）に、慈覚大師円仁によって再興され、これを機に平安時代から鎌倉時代にかけては天台宗の道場として、また山岳信仰の聖地として栄えました。

房総三山の一つ、鹿野山。白鳥峰、熊野峰、春日峰の三つの峰の総称であり、頂上付近から臨む房総丘陵の山並みが織りなす景色は極めて美しく、「九十九谷」の名称で知られ、紀行文家の大町桂月は「天下の奇観」と激賞されています。

千葉県君津市に位置する鹿野山には、古く

その後、鎌倉時代後期には、浄土真宗の開祖である親鸞上人が神野寺において修行をされます。親鸞上人が聖徳太子信仰が篤かったことは有名ですが、親鸞上人の影響により神野寺は念仏浄土の山として浄土真宗の時代を迎えます。宝物殿には親鸞上人ご自刻の像が納められています。

このように神野寺は、天台宗の時代、浄土真宗の時代と宗派が変容していくだけでなく、長い歴史の中では幾度となく天変地異の影響を受けます。特に十五世紀末、野火によりお堂が全焼したことで一時荒廃しますが、



境内入り口の仁王門には、2mを超える巨大わらじがかけられている。仁王門をくぐると広大な荘厳世界が現れる。

永正年間（一五〇四―一五二二）に高野山から弘範上人が来山し、真言密教の法灯を立てます。そして、地元の有力者の協力を得て再興を果たし、その後、当寺第七世源瑜の時代に中興し、新義真言宗の法灯を伝え、現在にいたっています。

境内散策

約四万坪という広大な境内に歩みを進め感じたことは、一見するとユニークにも思える「信仰のかたち」の多様性です。例えば、本堂



本堂正面の鰐口。男性が向かって左側の軍荼利明王、女性が右側の薬師如来を詣でる信仰があったという。



本堂内陣。天上には一面に蓮の絵が描かれている。大厨子の中に薬師如来・軍荼利明王の両本尊が並列して安置されているのは全国的に見ても大変珍しい。普段は秘仏であり、お前立ちに不動明王が安置されている。

の両本尊並列というのは全国的に見ても珍しいですが、正面入り口には鰐口が二つあり男性は左側の軍荼利明王を、女性は右側の薬師如来を参拝する信仰があったそうです。

また、神野寺には動物にまつわる伝説やさまざまな靈験譚が伝えられており、特に、天狗にまつわる伝説も多数あります。本堂裏手の奥の院には秘仏である飯縄大権現（白狐に乗った烏天狗）が祀られており、毎年十月九日にご開帳されます。天狗さまは、広大な山内を自由に動き回ることから、拝めば健脚、運動のご利益を授かれるとのこと。この天狗さ



本堂の裏手にある奥の院。飯縄大権現（烏天狗さま）が安置されている。



烏天狗さまは、広大な山内を自由に動き回ることから、健脚、運動のご利益を授かるとされる。



庭園。境内にはモミジ、イチョウ、ドウダンツツジなど、四季を彩る樹木が生える。その他に高浜虚子翁の歯塚や様々な句碑が建てられている。



江戸時代の伝説の名工・左甚五郎作の白蛇。古来よりご本尊茶利明王の化身として信仰されてきた。

まに、数年前より日本一のジャンボおはぎが供えられ、毎年参拝者が増え賑わっているそうです。これは一例ですが、神野寺に参拝すると、山岳信仰、庶民信仰など、信仰のさまざまなありようが見えてきます。

院代の岩間照種師に境内をご案内いただきましたが、境内には仁王門、経堂、六角堂、鐘楼堂、奥の院、表門、太子講堂、高浜虚子翁のお歯塚や五重の石塔、宝物殿など解説しきれないほど見所がたくさんあります。

岩間師はもととお寺の出身ではなく、小学生の頃から神野寺へ通われるようになり、そのまま神野寺へお仕えされるようになったそうです。「なんといっても神野寺の歴史、空気というものを直に感じていただきたい。また、一度に二体のご本尊さまのご利益を授かれます。そして天狗さまの下駄を触っていた

だき、ご健勝にてお過ごしください」と、神野寺の魅力が一番身近に感じてきた岩間師の言葉には、とても説得力があります。最近のパワースポットとして、若い方の参拝も増えているそうです。

神野寺は千四百年以上にわたり、山岳信仰、庶民信仰の場として継承されてきました。「信は莊嚴より生ず」という言葉がありますが、神野寺の静謐な莊嚴世界に身を置き、悠久の時を体感することで、自然に手を合わ



院代の岩間照種師。ご住職の山口照玄師とともに、神野寺を護持する。



ACCESS アクセス

鹿野山 神野寺

〒292-1155 千葉県君津市鹿野山324-1

JR内房線佐貫駅からバス鹿野山行き「終点」下車徒歩1分
館山自動車道、木更津南インターから国道127号線16km→
神野寺常代交差点左折→鹿野山方面へ

せたくなっていくことでしょう。ぜひ、ご参拝ください。

（文／智山教化センター所員 花木義賢
写真／清水健）

特集

お盆だからこそ 考えよう

—亡き人を安心して送り・供養するために①通夜(枕経)—

京都五山の送り火(鳥居形)と灯籠流し

毎年8月16日には、お盆でお迎えした御霊を、灯籠と送り火で仏さまの世界へとお送りします。亡き人は葬儀式において、導師より引導を授けられ仏さまの世界へと旅立っていきます。お盆で、亡き人やご先祖さまを安心してお迎えできるのは、正しい作法で葬儀を行った証でもあります。

写真提供／PIXTA

ご先祖さま、

亡き人をお迎えするお盆

お盆を迎えると、皆さんのご先祖さまや亡き人をご自宅にお迎え、ご接待をいたします。故郷を離れて都会で暮らしている家族も、お盆になると故郷に集まり、ご先祖さまとともに楽しいひと時を過ごすという方も大勢いらっしゃると思います。テレビのニュースなどでは、混雑している交通機関の様子が毎年のように放送されています。

このように私たちは、古来よりお盆になると(地域によって時期に違いがありますが)、ご先祖さまや亡き人の御霊を仏さまの世界からご自宅にお迎えして供養してきました。では、人は命を終えるときどこへ向かうのでしょうか？真言宗では仏さまの世界を「密厳浄土」といいます。数多くの仏さまが描かれた「曼荼羅」という図画の中心に描かれた「大日如来」の世界が密厳浄土です。代々のご先祖さまも、親しかったご家族も、真言宗の修法に則り、葬儀式において僧侶から引導を授けられ、密厳浄土に旅立っていくのです。そしてその証として、お戒名をいただきます。

大切な人の死に向けて

「すべての命はいつか尽きる」ということ

は、皆さんが承知していることです。しかし、実際に大切な家族や友人との別れの時が来ても、それを受け容れることは容易なことではありません。愛する家族や友人とはいっまでも一緒にいたいと思うのは当然のことですが、お釈迦さまが諸行無常と説かれたように、そうではないのが世の常です。ではその時がやってきたら、私たちは亡き人に対してどのように向き合えばよいのでしょうか。大切な家族や親戚、友人、知人が亡くなると、その御霊が彷徨うことなく仏さまの世界へと旅立っていただけるように、導師をまねき、葬儀式を行います。その後の供養である年回忌法要も含め、亡き人の供養の流れ全体を指して「葬送儀礼」といいます。

本誌をお読みになっている方は、菩提寺をお持ちの方が多いと思います。亡き人を供養する葬儀の際にはまず、葬儀を依頼する菩提寺にご一報ください。実際には、どうしたらよいかわからない、気が動転して何も考えられない、ということになっているかもしれません。そこで菩提寺のご住職とお話をするだけでも、その後の葬儀の流れが明確になってくることもあります。菩提寺によつてはご一報をいただくと、ご住職がご自宅などに赴き「枕経」を行うところもあります。そして日をおいて「通夜」、「葬儀」と続していきます。

亡き人へ向けた 吊いの気持ちと供養の流れ

通夜

亡き人と最後の夜をともに過ごしましょう。
(通夜の前までに枕経をする地域もあります)

葬儀

仏さまの世界へ旅立つ亡き人を
皆さまで見送しましょう。

初七日～四十九日忌(中陰)

亡き人が仏さまとなるための日々です。
皆さまで手を合わせて祈りましょう。

初盆(新盆)・お彼岸・お施餓鬼など

亡き人をご供養するとともに、
ご先祖さまに手を合わせましょう。

年回忌法要(百ヶ日忌・一周忌・三回忌…)

亡き人に心を向け続け、供養をしていきましょう。

※供養の流れは、ご逝去の時期によって変わることがあります。また、ご法事や初盆(新盆)、お彼岸、お施餓鬼など、地域により習俗が異なることがあります。詳細は菩提寺のご住職にお尋ねください。

亡き人を供養するこの一連の流れ全体を「葬送儀礼」といいます。

葬儀に至るまでの手順

※寺院によって異なる場合がありますので、
ご確認ください。

1 まずは菩提寺に連絡 (電話でも可)

2 親族・親戚に知らせる

3 住職と相談して、葬儀の日程を決める

葬儀の日程、戒名、布施など。
※お寺によっては「枕経」を行います。

4 葬儀の規模を決める

親族や隣組、葬儀社を交えて、
「葬儀の場所」「祭壇の形式」などを決める。

5 住職との確認

葬儀や風習の疑問点など。

家族に不幸が訪れたら、まずは菩提寺にご一報ください。一本の電話で、不安が解消され、その後のトラブルを防ぐことにもつながります。

枕経・通夜とは

「枕経」については、行方地域と行わない地域がありますが、その由来は、お釈迦さまが入滅されたときの作法（北枕、湯灌、末期の水など）によるとされます。また、かつては亡き人の臨終の場において僧侶が枕元で説法したり、お経を誦読したりすることで、仏法により死への不安を和らげ、安心のうちにあの世へ往くための「臨終行儀」という作法がありました。枕経はその影響を受けたものと考えられることもできます。

現代の枕経は人が亡くなった後に行われますが、これは亡き人の魂が安らかなることを願う行方供養です。一般的には、ご自宅などに安置された亡き人の枕元に「枕飾り」をし、不動明王または十三仏のご尊像を掛け、納棺前に読経をつとめます。枕飾りは地域により違いがありますので、地域の慣習をご確認ください。

通夜という言葉の意味は、文字通り「夜を通して」ということで、故人を葬る前夜に、家族や親類知人が集まり、夜明けまで棺前で故人の遺体とその霊を守り、慰めることにあります。

通夜の由来は、お釈迦さまが涅槃に入られた二月十五日の深夜（午後十時頃から午前二時頃）、多くの弟子たちがお釈迦さまの周囲に

集まり、夜通し永遠の別れを惜しんだことにあるといわれます。

また、日本の通夜は、仏教が伝えられる以前から行われていた「殯」の遺風という説もあります。これは、棺に遺体を仮安置し、その棺の前で死者の靈魂を慰めるものであったといわれます。

このことからすれば、日本における通夜は、仏教由来というよりも、私たち日本人が抱いていた死者に対する情感のうち、最も原始的な部分の表れといえる

かもしれません。それはすなわち、遺体を葬るまでの最後の時間を、いかに亡き人と共に過ごし、亡き人を慰め、その魂を安らかならしめるか、という素朴で純粋な情緒が淵源にあるといえるでしょう。

近代においては、亡き人が現世で過ごす最後の夜であればこそ、亡き人との別れを惜しみ、最後の食事を共にする意味で、遺族は酒肴を用意して会葬者にふるまい、会葬者は酒肴を囲んで亡き人との思い出を語りながら、しめやかに夜を過ごすことがマナーであり通例とされました。通夜法要が一般的になった現在でも、法要の後の食事の席のことを「通夜ぶるまい」とよぶのは、そのような慣例に由来するものです。

光明真言は、亡き人の生前の行いを浄めて仏さまと成す祈りの言葉です

おんあばきや　べいろしゃのう　まかばだら
まに　はんどま　じんばら　はらはりたやうん

宗祖弘法大師空海さまのご宝号

南無大師遍照金剛

※ご宝号をお唱えすることはとても功德があり、亡き人への供養につながります

亡き人に授けられたお戒名

△△信士・信女（□□院　居士・大姉　など）

枕経や通夜では、僧侶の読経の中で右記の文言をお唱えすることがあります。どうぞご一緒に唱えて、亡き人への感謝の心を伝えましょう（御詠歌などもお唱えすることがあります）。

枕経や通夜を迎えて

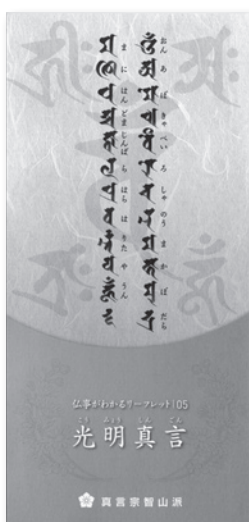
枕経や通夜では、導師の読経による供養が勤められます。「大切な人の死」はそう簡単に受け入れられるものではありません。だからこそ、読経や御詠歌で故人が供養されることによって、少しずつでも大切な人の死を受容していただくことにつながります。また、亡き人のために何かしてあげたいと思っていたとしたら、まずは亡き人に向けて感謝の心を形に表した合掌をして、供養の心を伝えてください。そして、導師と一緒にご宝号や光明真言をお唱えすることで、大切な人へ更なる感謝の気持ちを伝えることができます。

また、ご供養の心を伝える方法のひとつとして一緒に御詠歌をお唱えしてみたいかがでしょうか。自然と供養の心が湧きあがってきませんか？ 他にも、参列者の方々が書いた写経を棺に納めるなどとして、供養の心を言葉や形に表すことも大切です。亡き人を迎えるお盆だからこそ、このような葬送儀礼について思いを巡らす時間も大切なのではないのでしょうか。

(智山教化センター所員／倉松隆嗣)



Vol.6 お戒名ってなに？



Vol.5 光明真言



Vol.10 感謝の心と葬儀



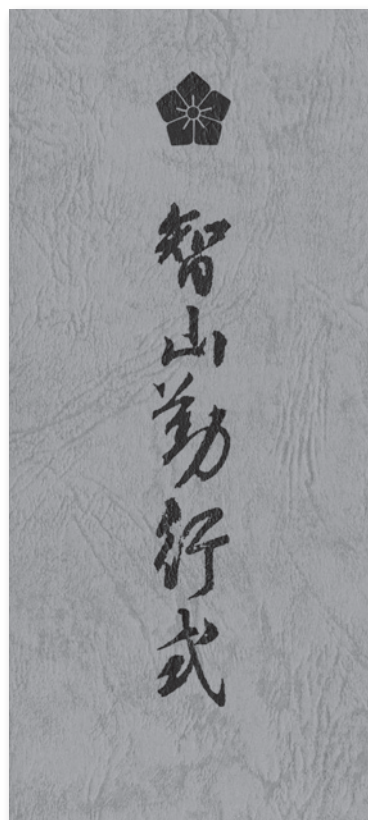
Vol.9 両祖大師とご宝号

仏事がわかるリーフレット

各30円

葬送儀礼に関する内容について詳しく知りたい方には、これらの資料がご

ざいます。
お問い合わせはP.23の出版係までお願いいたします。



智山勤行式

真言宗智山派檀信徒がお唱えする経典。日頃のお仏壇のお勤めにもどうぞ。並製40円 上製90円。

ち しゃくいん かんげつ え 智積院「観月会」のご案内

日時: 令和元年9月13日(金) 中秋

於: 智積院講堂

プログラム

第1部



◆ 声明公演 ◆ 瞑想体験「月輪観」
がらりんかん

第2部

◆ お月見コンサート

二胡のタベ

李 芃 (二胡)
西 穂 (二胡)
林 泰佑 (琵琶)

チケット

- ◆ 前売り券 3,700円
- ◆ 当日券 4,200円(枚数限定)
※ 智積院会館新築工事中につき本年の宿泊パックはございませんのでご了承ください。
※ チケットは全て月見弁当・お茶付きです

チケットお申し込み・お問い合わせ

TEL 075-541-5361(代表)

詳細は総本山智積院ホームページをご覧ください
<http://www.chisan.or.jp>



京都

総本山智積院

〒605-0951 京都市東山区東大路七条下ル東瓦町964
TEL: 075-541-5361 FAX: 075-541-5364



令和5年(2023)は、弘法大師空海さまがお生まれになつて1250年にあたる記念の年です。

宿坊 智積院会館は、新築工事のため、平成30年12月13日(木)より宿泊利用並びに会館利用を休止しております。新しい智積院会館は、令和2年6月頃開業の予定です。

写経のごぼうし
毎月21日 13時より
於 智積院金堂地下ホール
納経料 千円
智積院阿字観会
毎月12日 14時より(受付13時より)
※ 8月と12月は8日 14時より
於 智積院金堂地下ホール
(参加灯明料五百円・要事前申込)

東京

総本山智積院別院 真福寺

〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-8
TEL: 03-3431-1081 FAX: 03-3431-0203

愛宕薬師ご縁日(毎月8日)
※ 8日が土日祝の際は第一金曜日
6月7日(金)
7月8日(月)
8月8日(木)
※ 6月7日(金)に施餓鬼会(15時より)を行います。
やすらぎ寄席
毎月第3木曜日 18時30分より
(8月15日はお盆期間中のため、22日に開催いたします)
於 本堂(木戸銭千五百円)
6月20日 三遊亭
7月18日 談志一門会
8月22日 三遊亭
真福寺阿字観会
昼の部15時・夜の部19時より
於 本堂(無料・要事前申込)
6月25日(火)
7月23日(火)
8月27日(火)

総本山智積院HP

<http://www.chisan.or.jp/>



Facebook



智積院

検索